

ゲーム機をレンジでチン！?!? - 西日本防災システム

1

ソニー・コンピュータエンタテインメントSCEが、「PS3」や「PS VITA」などのゲーム機を、電子レンジに入れて加熱しないように、と呼びかけています。
修理を依頼されたゲーム機の中に、これを行った形跡が見られるからだそうです。? 何のため? ?レンジでチンする目的が何なのか全くわからないと 話題が広がっているようです。ドライヤーを使った修理法は過去にあったようです。SCEは2012年12月22日に重要なお知らせとしてこんな告知を出しました。「修理のご依頼をいただいた製品に、稀に電子レンジやドライヤー等を用いた外部からの加熱が原因と思われる本体外装の変形、および本体内部部品の破損・焼損痕が見受けられます」そして、「製品本体への加熱は、故障につながるほか、**火災**や感電、怪我の原因となるおそれがあります」と警告しています。対象となっている製品は「PS3」や「PSP」といったゲーム機で、なぜ電子レンジやドライヤーで加熱する必要があるのか、などとネットで話題になりました。ただし、ドライヤーに関しては「自分もやったことがある」などと証言する人が多いようです。(わからん)一部ではよく知られた「PS3の修理方法」のようです。ドライヤーを使った「修理」とはどんなものなんですか?。調べますと、最近の「PS3」ではまず起こらなくなったようですが、2006年に新発売された初期のものに、プレイ中に突然電源が落ちてしまう、という不具合がユーザーから報告されたようです。ユーザーは「PS3」内部の基盤部品を接着しているハンダが剥がれてしまったためだと勝手に判断し、ドライヤーやヒートガンを使って「PS3」内に熱風を送り込み、ハンダを溶かして元に戻そうとしたらしいです。事実かどうかはわかりませんがこの方法で「回復」し、短期間なら通常通り遊べるようになった、という多くの報告がネットに出たようです。そんなバカな!?! ですね!! 修理に出せば基盤が総取替えとなる可能性が高く、費用が1万5千円前後かかるうえ、これまで収集してきたゲームデータが全て無くなってしまったため、ドライヤーで熱し僅かな時間でも「PS3」を再稼動することができれば、保存データを別の「PS3」に移せるということらしいです。
オッサンには**訳が判りません!!**



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ



ゲーム機をレンジでチン！?!? - 西日本防災システム

2

当然ソニー・コンピュータエンタテインメントはこうしたことは認めていませんし、また、回復したのは本当にハンダの不具合が直ったためなのかどうかも分かっていません。
どちらにしましても、ゲーム機が”レンジでチン”で回復することは絶対にありません。
発熱し発火する可能性のほうが高いです。**感電**にも御注意下さい！

お父さんお母さんも よーく御注意下さい！

下記ページをご覧ください

http://www.jp.playstation.com/info/support/nr_20121222_ps.html



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

